

## 稲作情報 号外 ウンカ対策について

平成28年10月12日  
J A む な か た  
北筑前普及指導センター

本年度は、晴天が続き気温が高いために、トビイロウンカの増殖に好適な条件となり、平年よりも発生量が多くなっています。他の地域では、トビイロウンカによる坪枯れが発生しているほ場も確認されています。

トビイロウンカの発生量はほ場間で大きな差があるので、ほ場巡回を徹底し、発生状況の把握に努めましょう。

※ヒノヒカリは現在、収穫中であり農薬の使用時期に間に合いませんので、トビイロウンカが見られる圃場では早めに収穫をしましょう。

※ツクシホマレ、ヒヨクモチに関しては、ほ場の株元を確認しトビイロウンカが見られる場合は下記表を参考に早急に防除をしてください。

体系	薬剤名	散布量 (希釈倍数)	散布時期
粉剤	・キラップ粉剤DL	3～4kg / 10a	収穫14日前まで
	・スタークル粉剤DL	3kg / 10a	収穫7日前まで
液剤	・キラップフロアブル	60～200ℓ (2000倍)	収穫14日前まで
	・スタークル液剤10	60～150ℓ (1000倍)	収穫7日前まで
粒剤	・キラップ粒剤	3kg / 10a	収穫14日前まで
	・スタークル豆つぶ	250g / 10a	収穫7日前まで

※キラップ粉剤DL、キラップフロアブル、キラップ粒剤は、収穫14日前までしか散布できません。収穫14日前～7日前に防除を行う際は、スタークル粉剤DL、スタークル液剤10、スタークル豆つぶを使用してください。

※トビイロウンカは株元に生息しています。防除に当たっては、薬剤が株元まで届くように散布してください。深水状態にするとウンカが上部に移動してくるので、薬剤がかかりやすくなります。また、昼間は気温が上がり上昇気流が起きやすいので、朝か夕に散布しましょう。